



すえなが歯科医院 ★NEWS PAPER★



2007. 2月号

vol.4

立春とは名ばかりで寒さの厳しい日も少なくありませんがいかがお過ごしでしょうか？
2月は1年の中で1番寒い月とも言われていますので体調管理には十分お気をつけ下さいませ。
さて、今日のお題は「歯周病とタバコ」についてです。一見何の関係もなさそうですが
実は喫煙習慣は歯周病にかかりやすくなる最大の因子とも言われているのです。
タバコは歯周病を悪化させ治療効果を台無しにします。10年後、20年後のあなたの
歯を、今日のタバコで失う事になりかねません。タバコはお口の健康にも大敵です。
歯周病を防ぐ為にも禁煙をおすすめします。



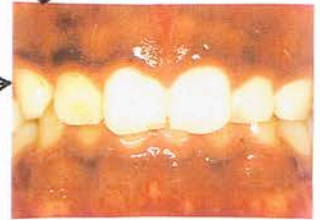
「タバコ」・歯周病

本人は喫煙していなくても、他人の吸っているにはこの煙を吸い込む事で健康被害を受ける事を**受動喫煙**といいます。

■ 受動喫煙

- ・タバコを吸っている人が吸い込む主流煙よりも、タバコから立ち上る副流煙の方が毒性が強い。
- ・受動喫煙した母親から、胎児や乳児へのニコチンの影響を確認されている。
- ・乳幼児や若年者では、受動喫煙の影響は大きく口腔内にもそのサインが見られる。親が喫煙者だと、受動喫煙で80%近く子供の歯肉に着色がある。
- ・喫煙者が周りにいる事で喫煙への抵抗がなくなり、早期に喫煙を始めちゃう子供が多く見られる。

受動喫煙により着色した
↓
子供の歯肉(14才)



■ タバコによる歯周病にかかりやすくなる・進行を止める理由

- ・歯周病菌に対抗する体の防衛機能が喫煙によって阻害され、その結果歯周病の進行を早めたり歯ぐきの治療が遅くなると考えられている。
- ・長年の喫煙習慣により、歯肉が硬くなり、歯周病が進行していても歯肉の表面に炎症が現れず、見逃してしまいがちになる。



48歳の方の口腔内

旧タバコ40本を20年継続。
歯周病が進行し、上の前歯は
なく、残存歯もわずか。

■ 周囲が気になる口臭

- ・喫煙習慣があると、本人は気にならなくても、周囲の人には口臭が感じられます。
(タバコの臭い以外の口臭も強くなる)



77歳の方の口腔内

喫煙経験なし。
高年齢でも健康な歯と歯肉
を維持している。

2007年度よりカムカムKid'sクラブ

- ・対象は0歳～15才までのお子様
- ・様々なイベントや特典を準備しております。
- ・詳しくはホームページをご覧ください。

始めました!!!!

<http://www.suenaga-dc.jp/kids/kids.html> →
携帯からでもアクセス出来ます。



〒852-8003

長崎市旭町6-1 タワーコート 3F

TEL 095-834-1188